

常に今できる最善の技術を提供！ 建築・什器塗装、光触媒など幅広いニーズに対応

シンエー 株式会社

山形県米沢市大字三沢 6092-11

『シンエー』は、2002年に創業以来、建築塗装や什器塗装、光触媒コーティングなど、幅広い塗装技術で評価を得る企業だ。2022年には法人化も実現し、心機一転のスタートを切ったばかりの同社を本日はタレントの島崎俊郎氏が訪問。佐藤社長にお話を伺った。



interviewer
島崎 俊郎



代表取締役
佐藤 信幸



—まずは佐藤社長の歩みから伺います。ご出身はどちらですか。

米沢市の出身です。17歳で塗装業に入ってからはこの道一筋で歩んできました。地元でも大きな会社に入りまして、外壁塗装から内部塗装、屋根塗装、什器塗装など様々な現場で経験を蓄積することができました。

—職人さんの世界ですから、修業もさぞ厳しかったでしょう。

そうですね。指導はとても厳しいものでしたが、今に見ている、3年後には上立ってやるという思いで仕事をしてきました。

—負けん気をパワーに頑張ってもらえて。社長にとって、このお仕事はどのような魅力がありますか。

塗装は大人の塗り絵のようなもの。やったことが目に見えますし、お客様からも喜んでもらえたり、感謝されたりすることがやり甲斐です。業界に入って30年経った今も仕事は楽しいですし、私にとっては天職だと思っていますよ。

—独立されたのは何年前ですか。

2002年なので、もう20年前になりますね。前職で10年間経験を積み、独立させていただきました。良い先輩、仲間にも恵まれていましたし、楽しく仕事をしていたので辞めるつもりはなかったの

ですが、結婚して身の回りが変化するにつれて、独立を考えるようになりました。前職には育てていただいて感謝していますし、今も良いお付き合いをさせてもらっています。

—良い人にも恵まれ、良かったですね。現在はいかがですか。

ずっと個人事業でやってきて、今年の3月ようやく法人化しました。法人化の準備を進めていた昨年、いよいよこれからという時に病に倒れ、半年ほど入院したのですが、その間も従業員が頑張ってくれた上、お客様も大変だろうとお仕事を下さって。なんと前年度よりも売上が上がったんですよ。たくさんの人に支えていただき、本当に感謝しかありません。

—ここまで社長が頑張ってもらえたからこそ、皆さん支えたいと思われたのでしょうね。御社の強みはどんなところにあるのでしょうか。

真面目なこと、嘘をつかないこと、対価以上のものをお返しできるように心がけていることでしょうか。お客様によって事情やご希望は様々です。そんな中でも、お客様に寄り添って、今の自分のできる最善の仕事を提供するようにと従業員にも言っています。

—そうした姿勢が信頼につながって

るのでしょうか。では、今後についてはどんな展望をお持ちでしょうか。

塗装業をはじめて30年、独立して20年ですが、これからは培ってきたものを若い人に継承し、事業のバトンタッチに備えていけたらと思っています。私には息子がいるのですが、息子には息子の人生がありますからね。自分のやりたいことをやってくれたら良いですし、もちろんそれが塗装だったらうれしく思います。いつか息子が社会に出た時、私と同じように天職を見つけてくれることが親として一番の希望ですね。

(2022年7月取材)



「『私にとって塗装は天職』と笑っておられた社長はとても格好良かったです。『常に全力投球する』という姿勢も社長の事業成功の秘訣なのだと感じましたよ。お体にはご留意いただき、これからも頑張ってくださいね！」 島崎 俊郎・談